

平成25年度

事業報告

公益財団法人 瀬戸市文化振興財団

目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1） . . .	2
2. 人材育成と市民の主体的な文化芸術活動を支援し 奨励する事業（公益目的事業2）	8
3. 文化財の調査・研究、資料の収集・整理・保管を行い、調査・研究 成果の情報と学習活動の機会を提供する事業（公益目的事業3） . .	10
4. 管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に 貸与する事業（収益事業1）	14
III. 庶務の概要	15
IV. 付属明細書	18

I. 事業概要

当財団は、平成24年4月1日から公益財団法人として新たなスタートを切りました。以来、公益法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民をはじめ皆様に親しまれ、満足いただける事業展開に努めてまいりました。

一方、市や国からの補助金を受けて事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めてまいりました。

瀬戸市の文化行政と目的を共有した事業展開を図り、陶祖800年祭の各事業をサポートし、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与するため全力で取り組んでまいりました。

1. 公益目的事業1

文化芸術の振興を図るため、瀬戸市の文化施設を活用してさまざまな分野の鑑賞事業や体験事業、国際アート事業を実施し、市民が身近に文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保・提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与しました。

2. 公益目的事業2

陶芸やガラス工芸等に関する分野の専門知識・技能を習得する研修や創作・発表といったコンクールなどを実施することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励することにより、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

3. 公益目的事業3

瀬戸は中世から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史でもあります。

本市の最大の特徴である窯業の歴史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報の提供と学習活動の機会の提供を行ってきました。また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行ってきました。

4. 収益事業1

瀬戸市より管理運営を受託している瀬戸市文化センターの施設を公益目的とした事業以外に貸与する事業を行いました。

II. 事業説明及び事業実績

1. 文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）

（1）舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催公演事業）

内容： 文化センター文化ホールを会場とし、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した鑑賞型ホール事業を開催しました。

事業名	委託先	開催日	入場料	入場者数
野村万作・野村萬斎 狂言を楽しむ会	万作の会	7/5 (金)	S席 4,000 円 A席 3,000 円	1,079 人
宝塚歌劇月組公演 2回公演	阪急電鉄(株)	11/26 (火)	全席 7,000 円	2,263 人
ウィーン・サロン・ オーケストラ ニュ ーイヤーコンサート	(株)プロ アルテ ムジケ	1/11 (土)	全席 4,000 円	571 人
しまじろう おとぎのくにのだい ぼうけん 2回公演	アイエヌジー	3/16 (日)	全席 1,900 円	1,863 人
平成 25 年度宝くじ文化公演 宝くじおしゃべり音楽 館	(株)企画研究所 自治総合センター補 助事業	3/29 (土)	一般 2,500 円 高校生以下 1,500 円	954 人

（2）美術鑑賞の機会を提供する事業（企画展開催）

① 美術作品の展示を行う事業（美術館企画展）

内容： 美術館企画展事業として、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

展覧会

事業名	開催期間	入館料	入館者数
せとものフェスタ 2013 第1回 瀬戸・藤四郎トリエンナ ーレ	4/20～ 5/26	大人 500 円 高大生 300 円	1,983 人
常設展 収蔵北川民次版画展・収蔵藤井達 吉名品展	6/1～ 7/28	大人・高大生 100 円	772 人
企画展 瀬戸本業窯 七代水野半次郎展	8/3～ 9/29	大人 300 円 高大生 200 円	1,672 人
特別企画展 河井寛次郎の陶芸	10/5～ 11/24	大人 500 円 高大生 300 円	4,249 人

特別展 伊藤高義回顧展	11/30～ 1/26	大人 300 円 高大生 200 円	1,532 人
瀬戸国際セラミック&ガラスア- ト交流プログラム 2013-2014 招聘作家作品展	2/1～ 3/23	大人 300 円 高大生 200 円	756 人
瀬戸市美術館 年間開館日数	312 日	年間入館者数	10,964 人

関連事業等

演 題	講 師	開催日	開催場所	参加者数
「河井寛次郎の陶 芸」スペシャルギャ ラリートーク Part1	鷺 珠江氏 (河井 寛次郎記念館学 芸員)	10/5 (土)	瀬戸市美 術館	47 人
「河井寛次郎の陶 芸」茶話会	鷺 珠江氏 (河井 寛次郎記念館学 芸員)	10/13 (日) 10/14 (月・祝)	文化セン ター 文 化交流館	20 人
「河井寛次郎の陶 芸」講演会	諸山正則氏 (東京 国立近代美術館 主任研究員)	10/14 (月・祝)	文化セン ター 文 化交流館	92 人
「河井寛次郎の陶 芸」スペシャルギャ ラリートーク Part2	濱田琢司氏 (南山 大学人文学部日 本文化学科准教 授)	10/30 (水)	瀬戸市美 術館	80 人

- ② 陶芸・ガラス工芸作品に特化して展示を行う事業 (新世紀工芸館企画展)
 内容: 展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野等における作家の「二人展」
 を中心に、交流棟では季節ごとにテーマを設けた企画展を開催しまし
 た。

展示棟企画展

事 業 名		開催期間		入館者数	
小曾川瑠那・山田輝雄		3/30～6/23		1,800 人	
清野祥一・西村陽平		6/29～9/22		1,621 人	
戸田守宣・山下真人		10/12～1/26		1,630 人	
工芸館展示棟 年間開館日数		231 日	年間入館者数		5,051 人

交流棟企画展

事 業 名	開催期間	入館者数
陶とガラスの五月人形とこどものうつわ展	4/6～5/6	1,012 人

カフェごはんの器展	5/11～6/23	950 人
「ガラス作家展」同時開催「夏のカレー皿展」	7/6～8/18	917 人
seto しごと展 vol.2	8/24～10/6	1,994 人
新世紀工芸館研修修了生 活動紹介 「陶とガラスの 5 人展 vol.2」	10/12～11/24	779 人
陶とガラスの冬のおくりもの展 vol.2	11/30～1/19	736 人
陶とガラスの雛人形と花とお菓子のうつわ展	1/25～3/16	3,080 人
工芸館交流棟 年間開館日数	260 日	年間入館者数 9,468 人

③ 歴史的工芸品の展示を行う事業（マルチメディア伝承工芸館企画展）

内容： 伝統的なやきものである「瀬戸染付」の歴史的名品を展示する企画展を開催しました。

事業名	開催期間	入館者数
川本半助・川本榊吉	4/3～7/1	1,553 人
瀬戸染付－これはなに？	7/3～9/30	1,065 人
情景を描く－瀬戸染付を中心に－	10/2～12/27	1,217 人
瀬戸染付と上絵付	1/5～3/28	2,870 人
伝承工芸館 年間開館日数	306 日	年間入館者数 6,705 人

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

内容： やきものの文化・技術を伝えるため、各種体験教室等を開催しました。
また、次代を担う子どもたちを対象として文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体が実施する体験講座を支援しました。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

事業名	開催期間	参加者数
「陶芸体験」 ロクロ体験、手びねり体験、絵付け体験	毎月第 1、第 3 日曜日 午前・午後 ※その他、学校関係へ 体験事業を実施	142 人

「ガラス体験」 吹きガラス体験、サンドブラスト体験	5月、6月、7月、11月、 12月、1月、2月、3月の 年8回	79人
------------------------------	---------------------------------------	-----

(イ) マルチメディア伝承工芸館体験事業

事業名	開催期間	参加者数
「瀬戸染付に挑戦！」	4月、7月、12月 1月	111人
「瀬戸染付体験教室」	5月、6月、9月 12月	81人
「絵付講習会」	8月、10月、11 月、2月	63人
「常設染付体験」	通年	作品 279 個

(ウ) 文化体験講座

事業名	開催期間	参加者数
夏休み期間中に、文化協会会員が講師を務める初心者を対象とした文化講座で、「日本舞踊ってどんなことするの」「ハッピーマジック教室」「大書に挑戦」「楽しく囲碁入門」「楽しく漢字を学ぼう」「楽しく箏をひきましょう」「香りと押し花」「にほん画であそぼ」「おこを弾こう」「百人一首で遊ぼう」「いっぷくどうぞ子供茶道教室」「ヴィオリラを弾いてみましょう」「津軽三味線」「やさしい箏はじめ」「子供太鼓教室」「楽しい水彩画」の16講座	7/21(日) ～8/29(木)	317人

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業（国際セラミック＆ガラスアート交流プログラム）

内容： 国際的に活躍する陶芸家・ガラス工芸作家を瀬戸に招聘し、滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施しました。また、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家の理解を深めるとともに、招聘作家の指導のもと、粘土・ガラスを素材とした造形を体験する機会を提供しました。あわせて、滞在制作作品の展覧会を開催しました。

(ア) アーティスト・イン・レジデンス

招 聘 作 家	国 名	滞在期間
マルガレータ・デップ 陶芸	スイス	7/1～8/19

ヘクター・M・フローレス	ガラス工芸	メキシコ	7/1～8/3
パルマ・バボス	陶芸	ハンガリー	11/1～12/20
キャリー・アイバーソン	ガラス工芸	アメリカ	11/1～12/7

(イ) スライド・レクチャー

招 聘 作 家	内 容	開催日	開催場所	参加者数
マルガレータ・デップ	シンプル・ラディカル	7/10 (水)	文化センター 文化交流館	40 人
ヘクター・M・フローレス	ガラスへの情熱			
パルマ・バボス	磁器の都市と市民	11/13 (水)	文化センター 文化交流館	35 人
キャリー・アイバーソン	視点の移行			

(ウ) 公開制作

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
マルガレータ・デップ	7/20(土)	新世紀工芸館工房棟	48 人
ヘクター・M・フローレス			
パルマ・バボス	11/23(土)	新世紀工芸館工房棟	30 人
キャリー・アイバーソン			

(エ) ワークショップ

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
パルマ・バボス	11/30(土)	新世紀工芸館工房棟	7 人
キャリー・アイバーソン			8 人

(オ) 招聘作家作品展

出 品 者	開催期間	開催場所	入館者数
マルガレータ・デップ	2/1～3/23	瀬戸市美術館	756 人
ヘクター・M・フローレス			
パルマ・バボス			
キャリー・アイバーソン			

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（文化施設運営事業）

内容： 瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を市民の文化活動の場として提供しました。

①市民文化に触れる場の提供（地域文化広場運営事業）

文化ホール

会 場	平成25年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
ホール	202	86,119	222	94,736	91.0	90.9
リハーサル室(1)	382	13,149	369	12,939	103.5	101.6
リハーサル室(2)	116	1,955	98	1,932	118.4	101.2
リハーサル室(3)	39	431	92	778	42.4	55.4

文化交流館

会 場	平成25年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
11会議室	470	16,841	449	16,807	104.7	100.2
12会議室	327	15,990	367	18,343	89.1	87.2
13会議室	540	17,242	519	16,367	104.0	105.3
21会議室	240	11,637	224	20,109	107.1	57.9
22会議室	300	22,726	287	21,398	104.5	106.2
31会議室	259	27,488	261	26,191	99.2	105.0
32会議室	409	6,983	393	6,718	104.1	103.9
ギャラリー	249	27,486	189	20,109	131.7	136.7
和 室	127	5,306	153	5,922	83.0	89.6
茶 室	89	2,974	92	2,377	96.7	125.1

②工芸文化に触れる場の提供（新世紀工芸館運営事業）

事 業 名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸のクラフトの系譜 『明日へ』	6/28～7/3	交流棟2階	136人
瀬戸原型陶彫会作品展	3/21～26	交流棟2階	128人

2. 人材育成と市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

（1）人材育成の機会を提供する事業（人材育成事業）

内容： 新世紀工芸館は陶芸・ガラス工芸の創作活動の場として、また、マルチメディア伝承工芸館では瀬戸染付の技術の保存・伝承を図るため、技術・技能を習得するための研修事業を行いました。

（ア）工芸分野における人材育成を行う事業

コース	10期生	11期生	研修生計
陶芸コース	0人	3人	3人
ガラス工芸コース	2人	2人	4人

事業名	開催期間	開催場所	入館者数
第10期研修生修了作品展 第11期研修生作品展	2/1～3/23	新世紀工芸館 展示棟	2,038人

（イ）瀬戸染付技術における人材育成を行う事業

24年度入所生	25年度入所生	研修生計
1人	0人	1人

事業名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸染付研修所研修生作品展	3/6～3/9	文化センター 文化交流館 ギャラリー	239人
事業名	事業内容		点数
瀬戸染付普及事業	瀬戸染付普及のため、研修所 修了生に作品制作を委託した		147点

（2）文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

（ア）美術作品のコンクールを行う事業（第66回瀬戸市美術展）

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の7部門で作品を広く公募し、優れた作品は表彰するとともに、入賞作品は展示を行いました。

部門	応募点数（内入選数）	美術展開催期間・場所
日本画	34(27)	10/23～27 入場者数 3,823人 文化センター 文化交流館
洋画	168(95)	
彫刻	11(10)	
陶芸	46(40)	

書 道	40(40)	
写 真	171(143)	
工芸美術	44(36)	
合 計	514(391)	

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業（第62回瀬戸市文芸発表会）

内容： 俳句・川柳・短歌・詩の部門で作品を公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窯火」を発刊し作品を紹介しました。また、講師を招き記念講演会を開催しました。

部 門	撰者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	応募句数 1,132 句 特選 12 句、入選 160 句	応募句数 199 句	10/10(木) 表彰式 記念講演会 参加者数 約 80 人 文化センター 文化交流館
短 歌	応募歌数 669 首 特選 6 首、入選 80 首	応募歌数 66 首	
川 柳	応募句数 1,419 句 特選 6 句、入選 60 句	応募句数 122 句	
詩	応募詩数 55 編 特選 2 編、入選 10 編	応募詩数 9 編	

② 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容： 市民の文化芸術活動を促進するため、邦楽、詩吟と民謡、洋楽Ⅰ、洋楽Ⅱ、謡・仕舞の5部門で「文化の祭典」を実施しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
文化の祭典 「邦楽」	5/19(日)	約 600 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「詩吟と民謡」	5/26(日)	約 600 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽Ⅱ」	6/16(日)	約 1,000 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽Ⅰ」	6/23(日)	約 500 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「謡・仕舞」	6/23(日)	約 50 人	文化センター 文化交流館

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

内容： 近郊の景勝地を訪問する吟行会を開催しました。また、成果は後日に作品集としてまとめ配布しました。

開催日	参加人数	部 門	開催場所
6/6(木)	68 人	短歌、川柳、 俳句	岐阜県「郡上八幡」

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体のコラボレーションによる展覧会「ふれあい芸術展」を開催しました。また、市内文化団体による「書道展」「いけばな展」「市民茶会」をそれぞれ開催しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
書道展	5/10～12	約 500 人	文化センター 文化交流館
第 22 回市民茶会	5/12	約 420 人	文化センター 文化交流館
ふれあい芸術展	10/30～ 11/3	約 1,000 人	文化センター 文化交流館
ふれあい茶会	11/1～3	261 人	文化センター 文化交流館
新春いけばな展	1/25、26	約 600 人	文化センター 文化交流館
新春茶会	1/25、26	688 人	文化センター 文化交流館

(エ) 共催・後援等による市民文化活動の支援

内容： 市民団体等が行う文化芸術活動の共催又は後援を行うことにより、市民の文化芸術活動を支援しました。

事業名	開催日	開催場所	主催者
瀬戸いけばな協会 25 周年記念 瀬戸いけばな芸術展	4/26・27	文化センター 文化交流館	瀬戸いけばな協会
瀬戸第九をうたう会創立 30 周年記念演奏会 陶祖800 年祭記念 第 17 回「第九演奏会」	12/8	文化センター 文化ホール	瀬戸第九をうたう会
ほほえみをあなたに モンゴルの大草原から美しい 風を未来の子供達に届けた い	11/30	文化センター 文化ホール	NPO 法人 Help For Youth

3. 文化財の調査・研究、資料の収集・整理・保管を行い、調査・研究成果の情報と学習活動の機会を提供する事業（公益目的事業3）

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

内容： 埋蔵文化財を適切に保護し活用するために、発掘調査や重要遺跡の保存のための試掘調査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにしました。

(ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘

調査)

	市内遺跡発掘調査	東印所A窯跡発掘調査
遺跡名	今村城跡	東印所 A 窯跡
所在地	瀬戸市共栄通	瀬戸市東印所町
調査面積	約 120 m ²	1,600 m ²
遺跡の性格	城跡	窯跡
遺跡の時期	室町時代	鎌倉時代
主な遺構	堀	窖窯 1 基、灰原
主な遺物	陶磁器	施釉陶器、山茶碗、片口鉢

	陶祖公園範囲確認調査	陶祖公園窯跡確認調査
遺跡名	夕日 5 号窯跡	夕日窯跡、夕日 4・5 号窯跡
所在地	瀬戸市藤四郎町	瀬戸市藤四郎町
調査面積	30 m ²	100 m ²
遺跡の性格	窯跡	窯跡
遺跡の時期	江戸時代後期	戦国時代、江戸時代後期
主な遺構	物原	窯体 2 基、物原
主な遺物	陶磁器	陶磁器

	陶祖公園藤棚基礎発掘調査	本地大塚古墳範囲確認
遺跡名	夕日 5 号窯跡	本地大塚古墳、西本地町東遺跡
所在地	瀬戸市藤四郎町	瀬戸市西本地町
調査面積	200 m ²	25 m ²
遺跡の性格	窯跡	古墳、散布地
遺跡の時期	鎌倉時代	古墳時代、中世
主な遺構	窖窯 1 基・灰原	古墳周溝
主な遺物	山茶碗、片口鉢、甕	埴輪、陶器

	卓ヶ洞古窯群確認調査
遺跡名	卓ヶ洞 2・3・4 号窯跡
所在地	尾張旭市霞ヶ丘町
調査面積	50 m ²
遺跡の性格	窯跡
遺跡の時期	古墳時代
主な遺構	窯体、灰原
主な遺物	須恵器

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
市内遺跡(若宮遺跡他)	瀬戸市若宮町他	平成 24 年度他
穴田窯跡	瀬戸市穴田町	平成 23 年度
東印所 A 窯跡	瀬戸市東印所町	平成 24・25 年度
夕日窯跡	瀬戸市藤四郎町	平成 25 年度
夕日 5 号窯跡	瀬戸市藤四郎町	平成 25 年度
本地大塚古墳	瀬戸市西本地町	平成 25 年度
O-110 号窯跡	日進市米野木町	平成 23 年度
NN-G-47 号窯跡	日進市赤池町	平成 24 年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

報告書名	体裁	発行数
第 52 集 穴田窯跡 I - 遺構編 -	A4版 94 頁	400 冊
第 53 集 折戸(O) - 110号窯跡発掘調査報告書	A4版 74 頁	300 冊
第 54 集 市内遺跡調査報告Ⅶ 若宮遺跡 (若宮町 3-84 地点)	A4版 48 頁	400 冊

- (エ) 発掘調査中に遺構等が検出された遺跡を公開し、説明会を実施する事業
(現地説明会)

発掘調査場所	開催日	参加者数
塚原 1 号墳(歴史広場オープニングセレモニー)	4/14(日)	140 人
夕日窯跡(保存展示施設設置)	平成 26 年 4 月 19 日オープン	

- (2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業

- (ア) 瀬戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容： 全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼を種類や時代ごとに抽出可能なデータベースの構築、成果を公表するもので、平成25年度は再構築作業を行いました。

・新規図書登録 1,459件

- (3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業(普及啓発事業)

- (ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業(歴史講演会)

演 題	講 師	
古瀬戸の魅力	井上喜久男氏(愛知県陶磁美術館)	
開催日	開催場所	入場者数
平成 26 年 1 月 25 日(土)	瀬戸蔵多目的ホール	約 80 人

- (イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業(文化財企画展)

事業名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
古瀬戸 中期様式の展開	12/7～ 2/9	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室	大人 500 円 高大生・65 歳以上 300 円	6,386 人

- (ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業(瀬戸蔵ミュージアム常設展示)

内容： 瀬戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示及び、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行いました。

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

事業名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
新出土品展赤津焼の歴史	4/20～ 7/7	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室	大人 500 円 高大生・65 歳以上 300 円	5,620 人
セト・ノベルティ人気コンテスト	7/13～ 9/23			6,340 人
瀬戸の絵皿を愉しむ～石皿・馬の目皿・行燈皿～	9/28～ 12/1			6,959 人
瀬戸の植木鉢一園芸ブームを支えた江戸・明治のうつわ	2/15～ 4/13			6,243 人

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

事業名	開催日	内 容	参加者
展示説明会	12/14(土) 1/25(土)	瀬戸焼の歴史と企画展示解説	合計 約60人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依頼者	派遣日	内 容	対 象
西陵小学校	4/30(火)	瀬戸市の出土品学習会	6年生 103人
幡山東小学校	5/1(水)・ 5/2(木)	瀬戸市の遺跡や出土品に関する学習及び古墳見学	6年生 63人
陶原小学校	5/8(水)・ 5/9(木)	6年生社会科の歴史学習「瀬戸の古墳を知ろう」	6年生 100人
道泉小学校	5/10(金)・ 5/30(木)	塚原古墳に関する学習及び古墳見学	6年生 30人
古瀬戸小学校	5/15(水)・ 6/18(火)	瀬戸市内の古墳に関する学習及び塚原古墳群の見学	6年生 21人
品野台小学校	5/16(木)	上品野蟹川遺跡出土品に関する学習	6年生 17人
幡山西小学校	5/27(月)～ 30(木)	埋蔵文化財センター施設見学及び埋蔵文化財の体験学習	6年生 129人
下品野公民館	10/26(土)	品野塾「古代の品野」	市民 約30人

4. 管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に貸与する事業（収益事業1）

当財団が管理運営している文化センターを利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

公益目的使用以外の割合 30%

Ⅲ 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 平成 25 年 5 月 20 日	(1)平成 24 年度事業報告に関する件 (2)平成 24 年度決算報告に関する件 (3)第 2 回定時評議員会招集に関する件 (4)職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 〃 了承	瀬戸市役所 2 階 201 会議室
第 2 回 平成 25 年 10 月 9 日	(1)平成 25 年度収支予算書の変更に関する件 (2)臨時評議員会開催に関する件 (3)職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 了承	瀬戸市文化 センター 文化交流館 13 会議室
第 3 回 平成 26 年 2 月 22 日	(1)公益財団法人瀬戸市文化振興財団組織規程の一部を改正する規程に関する件 (2)公益財団法人瀬戸市文化振興財団嘱託職員就業規程の一部を改正する規程に関する件 (3)公益財団法人瀬戸市文化振興財団旅費規程の一部を改正する規程に関する件 (4)平成 26 年度事業計画書に関する件 (5)平成 26 年度収支予算書に関する件 (6)平成 26 年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (7)臨時評議員会開催に関する件 (8)公益財団法人瀬戸市文化振興財団の重要な使用人の選任に関する件 (9)職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 了承	瀬戸市文化 センター 文化交流館 21 会議室

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第 2 回定時 平成 25 年	(1)平成 24 年度事業報告に関する件	原案通り 可決	瀬戸市文化 センター

6月18日	(2)平成24年度決算報告に関する件	〃	文化交流館 21会議室
第1回臨時 平成25年 10月25日	(1)平成25年度収支予算書の変更に関する件	原案通り 可決	書面審議
第2回臨時 平成26年 3月25日	(1)平成26年度事業計画書に関する件 (2)平成26年度収支予算書に関する件 (3)平成26年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (4)理事の選任に関する件 (5)監事の選任に関する件	原案通り 可決 〃 〃 〃 〃	瀬戸市文化 センター 文化交流館 21会議室

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
平成25年 5月8日	平成24年度事業報告及び決算	適法適正 処理	瀬戸市文化 センター 文化交流館 21会議室

(4) 役員

役職名	氏名	任期
理事長	増岡 錦也	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀井 勝	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	谷口 雅夫	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	深見 和博	平成24年4月25日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	鹿島 幸男	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 作助	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	長江 重和	平成24年4月25日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 光也	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	亀谷 政代司	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	成田 一成	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

監 事	小澤 修	平成24年4月1日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	鈴木 洋子	平成24年4月25日から平成25年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏 名	任 期
評議員	伊藤 典男	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	小沢 英之	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 泰子	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 令吉	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	亀山 久	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	山田 真司	平成24年4月25日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	計
事務局長	1人(嘱)		1人
課長補佐・所 長	1人(派)		1人
係 長・副所長	1人(派)	1人	2人
主 任		3人	3人
主 事	1人(派)	1人	2人
嘱 託	4人		4人
臨 時(常勤)	2人	2人	4人
計	10人	7人	17人

	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	マルチメディア ア伝承工芸館	計
管理事務所長	1人(嘱)	1人(嘱)	1人(嘱)	3人
嘱 託	6人	3人	2人	11人
臨 時 (常勤)		3人		3人
計	7人	7人	3人	17人

(派) は瀬戸市からの派遣職員。

IV 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。